

2020（令和2）年度 東北福祉大学通信教育部 スクーリング・アンケート自由記述（抜粋）

紙面の関係でごく一部のみしか掲載できませんでした。

ここにあげたもの以外にも多くのご感想・ご意見をいただき、ありがとうございます。
※新型コロナウイルスの影響により、オンデマンド・スクーリング開講科目のみとなります。

（目次）	共通基礎科目・その他の選択科目	p. 1
	社会福祉士指定科目	p. 5
	精神保健福祉士指定科目	p. 8
	心理系専門科目	p. 10
	幼保特例講座科目	p. 16

共通基礎科目・その他の選択科目

●禅のころ

・普段自分の内面と向き合うことが少ないのですが、禅のころの講義を受けて自分を深く理解できて良かったです。

●ボランティア論

・ボランティアとは相手第一に行う物だと今まで思っていたが、まず自分を理解した上で行わなければいけないことが理解できた。

●科学的な見方・考え方

・自分にとってはとても難しい内容であったが、レポートを書く際の注意点や構成がとても勉強になった。大学に入学し、はじめに取り組むべき授業であったと感じた。

●情報処理の基礎

・覚えて、実践で使う その繰り返しなんだなと納得しました。

●統計情報を見る眼

・今回学んで、情報について鵜呑みにしていたところがありましたが、いろいろな角度から捉える視点について知ることができたと思います。今後その視点を生かし、広い視野をもって物事をとらえていきたいと思っています。ありがとうございました。

●法の基礎／法の基礎（日本国憲法を含む）

・全く興味のなかった範疇であったが、勉強してみると福祉とのつながり（なぜ法学を学ぶのか）が分かり、面白かった。

●教育の歴史と思想／人間と教育

・教育の変遷について興味がなく今まで過ごしてきましたが、今回学んだことで学習について関心を持つと同時に自身のモチベーションにもつながりました。今後の教育、今後の日本の未来のためにも、教育の目的についてもっと幼少期から伝えていくべきとも感じました。

●人権と福祉

・人権と福祉という課題の大きさに開始前は不安があったが、これからも問い続けていくことが大切であると知り、向き合っていきたいと感じた。

●社会福祉学入門／社会福祉の基礎

・国だけに頼るのではなく、自分自身が知識を身につけ自ら考え行動していく事が必要だと思った。ソーシャルワーカーの本来あるべき姿を勉強することが出来た。

●生命の科学

・基本的な生理機能や加齢に伴う変化について、幅広く学ぶことができて良かった。

●睡眠改善学

・睡眠改善の知識として一般的なものはなんとなく知っているつもりだったが、その根拠やメカニズムを知ることができた。特に年代別の課題も学ぶことができたので、一般的な知識が誰にでも同じではなく、年代に合わせて使っていくことがよいことも理解できた。難しかった内容もあったので、学習を続けて理解を深めたい。

●スポーツの心理学

・先生が若者の目線で発言したり、例を出したり、クスッと笑える場面がいくつかありました。対面で授業を受けたかったです。ありがとうございました。

●発達障害者の地域支援

・発達障害者の支援は養育、教育、就労全ての分野に渡り、何より日常生活そのものにあると実感しました。

●認知症介護論

・認知症の介護をしていくうえで大切なことが良く分かった。相手の気持ちを尊重し、どんなことを伝えようとしているのかを汲み取っていくことが重要だと感じた。

●知的障害者福祉論

・ただ教科書に書かれていることや法律を覚えるだけでなく、現実にはどんな問題が起きていて、どんな課題が存在するのかを理解しなければならないと思った。

●発達障害者の理解と支援

・これまで、発達障害と言えば、アスペルガー・ADHD・広汎性発達障害の3つに大別されるのが当たり前だと思ってきました。「現在はすべて自閉症スペクトラム障害に統一されている」ということは、自分自身の考えを大きく変えさせられて、とても意義のあることでした。

●NPO論

・NPOのマネジメントの特徴が分かって自分の今までの疑問が解けた。動画を見て、さらに興味関心が深まった。

●福祉リスクマネジメント

・事故裁判例を学ぶ中で、過失を招いてしまう対応が日常的な関わり事象として身近にある怖さを認識しました。利用者が求める介護の関わりと介護事故を起こさせない利用者ニーズに添った関わりの提供には、緊張感を持って臨まなければならないことを改めて痛感しました。

●医療・福祉経済論

・経済はとても重要だと思いながらも、無知のままここまで来てしまいました。先生の授業のおかげで、もっと勉強したくなりました。『ワルラス的調整過程』『ギッフェン財』『効用』『限界効用と限界効用逓減の法則』『無差別曲線と予算線』が特におもしろかったです。パソコンの前で「なるほどね～」と独り言を言いながら、視聴しました。ありがとうございました！

●福祉用具と生活支援

・車いすを変える・調整することで高齢者の生活状況がそこまで変わるのかと驚きました。講義を受けたことで「できること」を増やしていくことがどれだけ大切なことか、高齢者の方が人生の最後を送るまでの期間に施設という場所で沢山の方に関わってもらえることが生活を変えることに繋がっていくのだと考えることができました。今回受けた講義内容

を復習しながら仕事に取り組んでいきたいと思います。

●**家族法**

・普段ニュースで聞いたり新聞などで目にする法律について、何気なく聞いていましたが、詳しく知ることができました。また、今の世の中を見るといろいろな問題があり、家族法は身近に関係するものだと改めて気づかされました。今後はどのような法律が関わってくるのか意識しながらニュースや新聞の内容を捉え、仕事において必要な時につなげて考えられるようにしたいと思います。ありがとうございました。

社会福祉士指定科目

●社会福祉原論（職業指導を含む）

- ・社会福祉についてより深いところの疑問を持ちながら、問い続け、学ぶ姿勢を基本として、取り組んでいきたいと強く思いました。自分自身、「わかったつもり」でいたことが確認できて、今後の取り組みに大きく影響を与えていただいた気持ちです。

●地域福祉論

- ・地域福祉の実践に繋げるためには、住民主体とは言っても、様々な取組や工夫、行政や専門職の関わりが重要だと改めて考えさせられた。

●社会保障論

- ・今まであまり社会保障について考えた事がなかったが、今回の講義を通して、年金や医療、介護、公的扶助など、さまざまな保障があることを知った。どの社会保障も今後自分の生活に深くかかわっていく問題なので、社会情勢などに注目しながら考えていきたいと思った。

●公的扶助論

- ・生活支援システムとしてのラストセーフティーネットが生活保護だけではないこと、それぞれが課題を持っていることを考えさせられました。

●福祉法学

- ・法律など無縁で過ごしてきて、本当は身近であることを感じる事ができました。まだまだ、わからない事だらけで理解するにも大変な状況ですが、先生はとてもわかりやすく授業を進めてくださり、興味をもちながら学習することができました。

●福祉社会学

- ・教科書などだけでは知りえない現実を映像で見られて、考える必要性をひしひしと感じられた。学問を学ぶことと同時に体験をしてそれを大事にしていきたいと思った。

●医学一般／人体の構造と及び疾病

- ・医学一般は、広範囲に及ぶので、スクーリングで重要なポイントをナビゲートしてもらって助かりました。

●福祉行財政と福祉計画（～2018 福祉計画法）

- ・自分が日頃から何気なく生活をしている中で、国や地方自治体が様々な指針や行動計画

を策定し、それを元に住民が暮らしやすいよう努めていることが理解できました。今後は今まで以上に行政の取り組みについて深く掘り下げながら生活していきたいと思いました。

●障害者福祉論

・障害者福祉への先生の意欲や熱意が画面を通して伝わってくる、学び多い講義でした。障害者福祉と一言と言っても内容はかなり広域に渡っているため、今後も身近なところでの活動に取り組んでいきたいと思います。

●保健医療サービス論

・診療報酬や健康保険など、自分たちが普段から関わっているものだが実際には知らないことが多かった。今回のスクーリングで理解することができてよかった。

●社会福祉援助技術総論

・社会福祉士がミクロレベルではなくマクロレベルまで考えて支援することの大切さ。実際仕事をするうえで、どこまでどのように動くことができるのかこれから考えていきたい。

●社会福祉援助技術論A

・事例が多く、経験や体験されたことを聴くことができてよかったです。援助関係の在り方やクライアントを支援していくうえでワーカーはどう関わっていけばいいのか考えさせられました。

●社会福祉援助技術論B

・事例を聞くのが興味深かった。教科書に載っている言葉や文章などは読めばわかるので、やはり現場で働く人の思いや言葉、悩み、事例など聞くと参考になりました。

●社会調査の基礎（社会福祉援助技術論Ⅱ）

・社会調査というものについて漠然とした認識でしたが、社会人として改めて正しい理解を得ることができたことや、社会福祉との兼ね合いにおいて学習することができ、有意義な学びを得ることができました。広く社会で見聞きする統計について、これからは正しい理解と判断できる力を養いながら見ていきたいと思いました。

●福祉経営論（福祉施設管理論）

・日頃、現場を中心に業務をしているとなかなか関心を持たない分野ではありますが、全ての職員が長期的にやりがいを持って働いていける職場作りをしていくために無くてはな

らない科目なのだと講義を通して強く感じました。

●高齢者福祉論

・高齢者の福祉について日本独特の経緯や海外との違いなども講義に入っており、比較できたのがよかった。日本の制度ばかり聞いていても良いのか悪いのか、なぜそうなったのか狭い範囲でしか理解できないので、こうした大きな観点からの説明があるのは良いと思った。

●介護概論

・ひとりひとり違う価値観に向き合い、支援することの大切さを教えていただき、とても勉強になった。

●児童・家庭福祉論

・非常に多岐に渡る内容を、コンパクトにまとめて下さっていて、とても分かりやすく学修になったと思います。また教科書以上の内容を知ることができ、ますます児童・家庭福祉について掘り下げていこうという気持ちになりました。ありがとうございました。

●更生保護制度論

・保護観察、仮釈放、非行少年、高齢犯罪者など言葉として聞いたことのあるものを更に細かく学ぶことができ、今後刑事事件の報道などを見る時にこれまでとは違った視点で見ることが出来るようになったと思う。

●就労支援サービス論

・専門職としてどう対象者と関わる必要があるのかを深く理解できました。また、支援制度の理解だけでなく、利用者本位での支援計画の見立て、連携が重要であることも理解できました。

精神保健福祉士指定科目

●精神保健学

・様々な立場、方向からの精神障害における社会的捉え方やあり方、また、これまでの歴史を学問的に学ぶことができたと思います。これからも発展変遷するであろう精神保健福祉をバックグラウンドに掲げる支援や保護の価値の置きどころについて考えさせられました。ありがとうございました。

●精神医学

・いろいろな種類の精神障害を抱えた人の実情報を紹介していただき、驚くと共に、なぜこんな重荷を背負わなくてはならないのかと、やるせない気持ちになりました。自分が少しでも役に立つように、しっかり学んでいきたいと思いました。

●精神保健福祉援助技術総論Ⅰ

・クライアントのかかわり方について、いろいろな側面から関わっていくやり方があることが分かり、今後の実践で活かしていきたいと思います。

●精神保健福祉援助技術総論Ⅱ

・クライアントを支援するにあたり、支援計画をつくる内容において、他機関との連携・協働の必要性を踏まえないといけないことが、大変勉強になりました。また、認知症高齢者への精神保健福祉士の役割についても、もっと深く勉強しなければと思いました。有り難うございました。

●精神保健福祉の理論（精神保健福祉論Ⅰ）

・偏見や差別からサービスを受けるのを本人がためらう、家族が嫌がる・苦しむことで病状や取り巻く環境が悪くなるという部分に関心を持った。そうした負のサイクルができてしまうことを知り、改めて精神保健福祉士や社会の在り方を考えさせられた。

●精神科リハビリテーション学

・歴史的背景や技術的なことだけでなく、ワーカーの立ち位置や考え方などについて、深く考える機会になったと思います

●精神保健福祉のサービス（精神保健福祉論Ⅱ）

・先生のご経験を交えたお話は、スクーリングならではのようです。福祉の精度・サービスというのは、経験を積まなければよくわからない業務と思いますが、今回の講義を通して、漠然とした状態ながらもイメージづくりができました。

●**精神保健福祉の制度（精神保健福祉論Ⅲ）**

- ・教科書中心の講義で、先生が黒板に要点を書いてくれ、大変わかりやすかったです。また、教科書に書いていない細かいところまで説明していただき、本当に何回も説明していただき有り難うございました。制度を使いこなせるようになること、そして精神障害者の方々にそれらを活用して、感謝されるようになりたいです。

●**精神障害者の生活支援システム**

- ・精神障害の領域は、他領域以上に世相やその時の法体制に縛られるものだという認識を改めてした。その分、学習をすすめるにあたって制度改正や提言などをリアルタイムで追いつける必要があると感じた。

心理系専門科目

●福祉心理学

・高齢者の問題行動は、赤ちゃんへの対応を応用して解決することができる点に興味を持った。人は皆、お母さんから生まれて愛情を得て育ってきたのだから、孤独と闘っている高齢者に対してはより愛をかけてあげることが大切という概念に心打たれた。そういう気持ちで周りの高齢者に対して、みんなが持てれば様々な問題は少しずつ減っていくのではないかと思った。

●心理学概論A・B／心理学概論

・心理学についての基礎的な知識が全くなかったのですがとても分かりやすい内容でした。届いた教科書をスクーリング前に見た時は、専門的な内容で全く頭に入ってきませんでした。ほとんど予習なしでスクーリングを受けましたが最初に感じた難しそうという印象から心理学は身近なものなのだと分かり、苦に感じることなく見終えることができました。

●心理学実験 I A

・今回のミュラーリヤー錯視の実験で、人間の視覚から認識するものがいかに曖昧で正確なものではないことがわかりました。視覚を通じての固定観念や思い込みが起こりやすいことを認識し、日常生活をするなかで決めつけずに多様な可能性や方法の選択肢を広げていくことによって自分自身も相手に対しても客観視出来るようになっていきたいと思います。ありがとうございました。

●心理学実験 I B

・実験というと、難しい、とっつきにくい、専門用語がわからないということがオンデマンド・スクーリングを受ける前の私でしたが、先生方の親切、丁寧な授業内容にそんな心配が吹き飛ばされ、例えば印象形成の講義のときは、「背景の色を別の順番で被験者に見せたらどうなるだろう」などという探求心がわきました。

●心理学実験 I

・実験が3種類あり、それぞれ、日常で起こりうるテーマで、興味がわいた。

●心理学実験 II A

・心理学実験は対面スクーリングでないとはわりづらいついと思いオンデマンドスクーリングは不安だったが、平川先生の柔らかい口調と丁寧な説明でとてもわかりやすかった。

●心理学実験ⅡB

・被験者として実験したことで理解が深まりました。またグラフの編集の仕方やエクセルでの分析の仕方を教えてもらえたのも良かったです。

●心理学実験Ⅱ

・自分の力だけで、エクセルでデータ分析をしたり、図や表を作成したり、実験結果をまとめるなどできたら、もっと楽しいんだろうな、できるようになりたいなと思いました。講義を受けて知識を深めるのも楽しいし、嬉しいですが、実験・研究は自分で体験しながら理解することができるので、より楽しいと改めて感じました。

●心理学研究法A・I

・心理学における様々な研究法について学び、それぞれの長所や短所について理解することができた。統計の部分は難しいが、丁寧かつ簡潔に説明していただいたので、わかりやすかった。そのおかげで心理統計法の授業への関心も高まった。

●心理学統計法

・統計学に対して、勝手な苦手意識がありました。先生の説明が分かりやすく、苦手意識のレベルが少し下がりました。何度も動画を見直さないと分からないところはありませんでしたが、それは私自身の理解力が問題でした。オンデマンドの良い所は、分からないところを再度見れることです。数式は苦手ですが、興味が持てました。ありがとうございます。

●社会・集団・家族心理学A（社会・集団心理学）／社会心理学

・対人場面でなぜ人をそういった態度、行動をとるのかを知ることができた。特に態度に関する内容に興味を持ったので、さらに理解を深めていきたい。

●社会・集団・家族心理学B（家族心理学）／家族心理学

・問題の原因を取り除くのではなく解決を目指す という考え方が今までの生活の中にはなかった。原因ばかり追求するのは止めようと思いました。光あるところに光をあてていきます。

●人間関係論

・事実の根拠として挙げられる「研究」がとても充実していて、事実の部分への理解・関心がより一層深まった気がしました。導入として行った簡易エゴグラム表も、楽しさもあり、その後の講義に向けてスムーズに思考が切りかえられた点もよかったです。

●産業・組織心理学

・仕事のキャリアというものを漠然と捉えていたが、スクーリングによって明確に見通せるようになりました。今回のスクーリングは自分の人生を考える上でとても参考になりました。

●発達心理学／生涯発達心理学

・アイデンティティの話は、自分のこれまでの人生を振り返りながら考えると、なるほどと思わされるが多かったです。また、幼児期の発達については、講義で紹介された実験を自分の子どもに対して実際にやってみることができたので、理解し易かったです。

●児童青年心理学

・人間は成長の過程の段階において課題があり、それに向き合っていくことで成長を遂げるという点が非常に納得できた。

●老年心理学（A・B）

・項目ごとに内容が分かりやすかったです。高齢者の虐待、セルフネグレクトについては様々な家庭環境や要因あり考えさせられました。

●教育・学校心理学A（教育心理学）／教育心理学

・教育の立場に立つ人や支援の立場に立つ人の教育とは何か、どのような認識をもって向き合うことがよいのかが理解できた。

●教育・学校心理学B（学校心理学）

・学校心理学の具体的な事例があることで、様々な葛藤を抱えた生徒に対しての支援方法を理解できた。また、SC は生徒との対応だけでなく、保護者、教師、その上司との関わりの大変さも理解できた。コーディネーター力が求められることも確認できた。

●障害者・障害児心理学

・障害者の支援はとても専門的で、高度な技術が必要であることを学びました。そして、社会生活が普通にできるように支援の継続が大切であるため、私たちも役立てたらと思いました。ありがとうございました。

●ライフサイクルと福祉心理学

・受講内容を自身の生活と照らし合わせながら考えることができ、興味深く視聴しました。講師の先生の例えが生活に密着したものであったので、分かりやすかったのだと思います。

●感情・人格心理学/人格心理学

・実践に必要な知識の学習になったと思う。ただし覚えるにしろ理解するにしろ、今後も従来の理論や新理論などを何度も学習することで、より理解が進むのだろうと感じた。

●心理的アセスメントⅠ/心理アセスメント

・心理テストを実施する際は、まず自分自身がしっかりと理解するとともに、使えないところがあれば無理をしないことを学びました。クライアントの福祉を援助して行動することの大切さを学びました。心理的な問題を抱えている人がいれば、コミュニティの中でしっかりと受け入れていく体制づくりを考えていくことが第一であると感じました。心理的に困っている人がいれば、自分らしい生き方をすることにより、問題解決に結びつけていくものであると理解することができました。ご指導いただきありがとうございました。

●心理学的支援法Ⅰ

・乳児、幼少期からの養育者（親）の影響は大きく、話し方、思考に大きく影響することに恐怖を覚えた。今後も親子間の連鎖について学んでいきたい。

●心理療法

・心理療法の歴史や、箱庭療法、内観療法、森田療法なども詳しく理解できた。また、心理学的支援がどのようなところで役に立つのかもわかった。

●臨床心理学概論Ⅰ/臨床心理学

・歴史的な背景や研究者の経歴、語源について説明していただいたので理解しやすかった。会場での講義でもっと理解を深めたかったなと思った。その分を参考文献などをいつもより多く閲覧しようと思う。

●司法・犯罪心理学

・ニュース等で報道されている事件などの犯人の人格や生い立ちの話など貴重なお話を聞くことができました。被害者だけではなく加害者もカウンセリングが必要不可欠なことがよく理解できました。

●健康・医療心理学

・職場内における環境の大切さについて改めて考える機会となった。ストレスの度合いや大変だと思える量については個人差があり、働く人々の健康について理解の必要性を考え、把握に努めたいとは思っても、それ自体が仕事量の増加やストレスにもなりうるので、外部による専門家の力は大いに必要であると感じた。

●カウセリングⅠ

・カウンセラーになるわけでもなくとも、普段の生活にも活かせる内容だった。

●カウセリングⅡ

・いくつかのカウセリング事例が勉強になりました。限られた時間での、問題点の道程、治療セッションでの提案、関係者への配慮と説明など、簡単にできるようなことではないことがわかりました。いくつかの事例から、時間に追われる現代社会の盲点として、人とのつながりが量・質ともに浅いことから生じる問題が少なくないと感じました。日々、人と適切に向き合っているだろうか、など、自分への振り返りが多い授業だったと思います。ありがとうございました。

●カウセリング演習Ⅰ

・自己開示するタイミングを確認出来たので、今後仕事に活かしたいと思いました。

●カウセリング演習Ⅱ

・菊住先生のカウセリング応用実践の話しとても興味深く聴きました。受容のレッスンでは、「目ざからパワーアップ」「気持ちを全身で届けましょう」「気持ちを言葉に乗せましょう」面白かったです。是非、仕事や日常生活に活かしていきたいと思います

●知覚・認知心理学／認知心理学

・学習したことが、今の自分ができる支援につながるということが分かりました。

●学習・言語心理学／学習心理学

・言語化すると無駄な思考を減らせるという先生の言葉から、反芻を繰り返してしまったりする時にとっても有効な手段だと思った。

●神経・生理心理学

・ストレスはやはり健康を害する可能性があるのだなと、改めて認識した。ストレスを溜めこまないようにしようと思った。

●特講・福祉心理学9（コミュニティ心理学）

・コミュニティ心理学が、より実践的で、相談援助の面談等の現場で、その知識・態度・対応方法に活用できることが、とても理解できた。認知行動療法と微妙に似ているところもあり、正しく身に付けたいと思う。

●特講・福祉心理学 17（認知行動療法）

・職業相談業務に携わっており、認知の歪み生じている方が多々いることを実感しました。
認知再構成法・リフレーミング・外在化技法・自己教示法・思考停止法を学ぶことが出来て良かったです。今後、学んだ知識を仕事で役立てていきたいと思います。

幼保特例講座科目

●乳児保育

・実際の保育の現場の映像を視聴することができ、とても勉強になりました。今現在、自分の保育と照らし合わせ、乳幼児への様々な対応を再確認できました。今後の保育に役立たいと思います。又、保育園に通う乳幼児や保護者支援、地域の方々の子育て・保護者支援の大切さも学びました。自分のできる限りの支援をしていき、乳幼児・保護者の方々が笑顔で、楽しく過ごしていけるようにしていきたいと思います。